学習進路だより　第６号

～今後の学習と進路の見通しを考えよう号～

下館第一高等学校
附属中学校 学習進路部
令和8年９月18日

皆さん、こんにちは。9/11（金）の「進路を考える会」はどうでしたか。きっと、今後の人生設計の糧となる情報を得られたことと確信しています。

その一方で、これからの学習や進路についてどのような見通しを立てたらよいか少なからず不安を感じている人もいるかもしれません。今回は、そのことを考えるヒントを紹介したいと思います。

＜学習について＞

皆さんは、日頃の学習の理解度を確認するためにいくつかのテストを受けています。**それぞれのテストは、実施目的が異なります**が、具体的にはどのようなねらいがあるのでしょうか。

○中間テスト・期末テスト

授業の理解度を確認するテストです。このテストでは、自分の理解できていないところを知り、その対策をたて、克服に向けて実行することが目的となります。**各教科の得点でばらつきがでないよう、バランスを考えた学習計画**を立てましょう。

○新教研テスト

茨城県の公立高校入試を意識した実力テストです。市立の中学生は、この新教研テストの得点を参考に、どの高校を受検するかを考えます。皆さんにとって、下館一高に入ってから授業で困らないようにするためには、５教科で **350 点以上**を目指しましょう。また、大学入試で筑波大などの難関大学や医学・薬学などの難関学部を目指すならば、５教科で **400 点以**上を目標にするとよいと思います。

○学力推移テスト

ベネッセコーポレーションが作る、全国の附属中や中高一貫校を対象とした**ハイレベルなテスト**です。**授業で学んだ知識を応用できるか**をみるテストです。下館一高に進学するとベネッセコーポレーションの「総合学力テスト」や河合塾の「全統模試」などの全国模試があります。こちらも同じように、応用力を測定するテストです。

＜進路について＞

高校１年次に入ると、**１２月頃**には、**「文理選択」**という大きな選択をしなければなりません。これが、**高校１年次の最重要の選択**になります。

高校入学後ですが、１年次は、芸術の選択はありますが、その他については全員が同じ教科科目を学びます。高校１年次の「文理選択」をもとに、**２年次で、「文型」と「理型」**の２つに分かれます。学ぶ教科・科目も「文型」「理型」ならではの科目が入ってきます。**３年次ではさらに、「サイエンス」、「ヒューマニティー」、「グローバリゼーション文型」、「グローバリゼーション理型」の４コース**に分かれます。年次を追うごとに細かく分かれていく理由は、**大学入試では「入学後の学びのために必要な学力」が、大学の学部学科によってそれぞれ異なる**ためです。そのため、高校１年次では「広く浅く」学びますが、高校３年次では、自分が希望する大学の学部学科に合わせた「深い学び」が求められるため、４つのコースに分かれるのです。

市立の中学生は、高校入学後、いきなり大学入試に関する情報や文理選択についての情報に接することになり、短期間で重要な文理選択を決めなければなりません。皆さんには、**「進路について考える会」**などのように、**いち早く高校入学後の見通しについて考える機会**があります。これは、**附属中の良いところ**の一つでもあります。

次号では、「文理選択」について書きたいと思います。

高校入学後の学びの見通しについて、今から少しずつ考えていこう！